

実施期間
2021-2023

実用化開発場所
浪江町

連携自治体
浪江町

福島県浜通り地域の活性化貢献および持続可能なモビリティサービスの構築

日産自動車株式会社

人口低密度地域でも持続可能なモビリティサービスのスキームを確立する

モビリティサービスの恒常的な利用者獲得とサービス運用のためのエコシステム開発、サービス効率化のためのモビリティサービス運行システムの開発を柱とし、住民や来訪者をユーザとする実証実験で有効性を検証します。



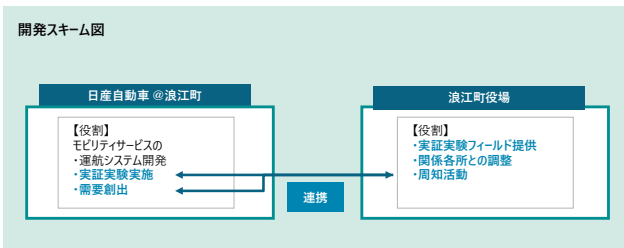
総合研究所 モビリティ&AI研究所 主管研究員
宮下 直樹

開発背景

人口減少や高齢化により地方のモビリティ確保が社会的な課題です。まちづくり連携協定を締結した浪江町、双葉町、南相馬市において、持続的、かつ、帰還・交流人口の段階的な増加に対応する公共交通の構築に取り組んでいます。

実用化時期	令和5年度（2023年度）
実用化開発の目標	販売製品・サービス名 モビリティサービス運行システム（未定） 成果物（最終年度） モビリティサービス運行システムの各種開発機能の実用化水準への到達、および地元事業者への事業移管準備完了 創出される経済効果 モビリティサービス運行のための地元を中心とした事業雇用創出、および住民・来訪者のサービス利用による賑わい消費創出

開発のポイント	要素技術 モビリティサービス運行システムにおける運行効率向上技術。具体的には、ドライバ休憩、待機車両配置、貨客混載配車アルゴリズム、配車管理 開発のポイント 従来、担当者がマニュアルで対応していた車両配置、ドライバ休憩、配車予約などを自動化、最適化することで、運行効率向上、運行コスト低減を実現します。
---------	--



浜通り復興に向けたメッセージ

本事業を進展させ、浪江町および浜通りエリアに持続可能なモビリティサービスを根付かせ、地域での自由な移動の提供と、それに伴う地域経済循環に貢献できるよう邁進してまいります。

浜通り地域への経済波及効果	雇用数	実績	-
		今後の予定	2名（うち、地元雇用者2名）
	拠点立地件数（立地場所）		1件（浪江町）
地元企業との連携	R&D・開発		モビリティサービス運行システムのドライバ向けツールのインターフェースや運行改良施策について地元企業と協業中
	資材調達		車両稼働率向上につながる貨客混載による買い物宅配サービスの実現性検討のため、地元企業と協業中
	製造		-
	販路開拓		-

これまでの得られた成果	成果品・試作品	モビリティサービス運行システムへのサービス運行効率化機能の実装、およびモビリティサービス実証実験の実施
	知的財産権	-
	開発技術	ドライバ休憩管理機能、車両最適配置機能、貨客混載効率化アルゴリズム、配車システム・インターフェースの開発
	自治体との連携実績	浪江町（道路・駐車場などの使用調整、広報誌による町民への周知、交通事業者の調整、など）
	代表的な企業との連携実績	新常磐交通株式会社、東北アクセス株式会社、有限会社観光タクシーと実証実験車両運行業務を協業
	メディア露出や受賞歴	在福島TV局3社で報道放映、紙媒体4紙に記事掲載。福島中央テレビ「ふくしま未来ストーリー」で特集放映(12/5)

連絡先

日産自動車株式会社 |
福島県双葉郡浪江町上続町12朝田ビル4F
日産浪江町事務所
☎ 0240-23-5552 (担当：久家伸友)
✉ n-kuge@mail.nissan.co.jp



投資規模	5～9億円
開発人数	10～29名
販売時期	令和6年度（2024年度）
販売形態	モビリティサービス運行システムの運行ライセンス提供
販売見込先	3社
協業希望先	地域交通事業を運用する企業、自治体